

日本から一時的に輸入される馬の家畜衛生条件(仮訳)

1. 定義

農林水産省政府獣医官

農林水産省に所属する獣医官であり、獣医職家畜防疫官であろう。農林水産省獣医官は、動物衛生及び又は公衆衛生に係わる公的な役割を行い、農産物を検査し、国際獣疫事務局（OIE）陸生動物衛生規約（以下 OIE コード）5.1 章及び 5.2 章の規定に適合した証明を行う。

農林水産省の承認を得た獣医師

出国検疫施設それぞれに必要な獣医師であり、出国検疫の SOP を遵守し、農林水産省の政府官の指示に従う獣医師。PEQ 施設の獣医師であることが予想され、農林水産省によってそれぞれの PEQ 開始前に承認される。

2. 管理条件

これらの条件下での輸入は、豪州の輸出直前の少なくとも 60 日間以上日本で継続して飼養され、検疫制限を受けていない馬と、到着後 60 日間以内に豪州向けに輸出される馬に限定される。60 日間の飼養条件は、AQIS によって特別に認可されれば、一つ以上の認可された国で達成される。飼養に関する各国への衛生条件は記載されること。

輸入許可は、馬の輸出前に AQIS から文書によって得ることができる。

詳細な輸入許可条件や輸送準備を含む、その他の管理条件は、AQIS から入手できる。

詳細の入手先：

Live Animal Imports

AQIS

GPO Box 858

電話 + 61 26272 4454

ファックス + 61 26272 3110

Canberra ACT 2601

E メール：animalimp@agis.gov.au

条件全文は AQIS 輸入条件データベース(www.aqis.gov.au)で閲覧できる。

3. 書類

各輸入馬は、次の書類を携帯しなければならない。

- ・ OIE コード 5.12 章で推奨される競技馬の国際移動のためのモデルパスポートに適合した、現行の国際パスポートもしくは国際的に認められている馬関係機関により発行される同じような公的書類

- ・農林水産省政府獣医官によりサインされた、OIE コード 5.10.2 章に適合する国際獣医証明書の原本

獣医証明書は下記内容が証明されなければならない。

- ・英語および農林水産省政府獣医官の理解できる言語で書かれていること。
- ・「輸出前証明」の条件が充足していること及び「出国検疫条件」の全てが充足されていたことが述べられていること
- ・種類、品種、性別及び年齢を含む各動物の識別方法（パスポートの詳細及び／又はマイクロチップの番号／地名又は血統又はシルエット）提示されること
- ・輸出者と輸入者の名前、住所が記載されており、発行された輸入許可書が確認できること

農林水産省政府獣医官は次のことをしなければならない。

- ・各馬にそれぞれ獣医証明書を発行すること。
- ・獣医証明書の各ページにサイン、日付及び印（家畜衛生当局の印とともに）を記載し、獣医証明書を補完する、例えば検査報告など、全ての文書の原本を添付すること。
- ・獣医証明書に記された、当人の名前、サイン、連絡先の詳細を記録すること。
付属書類のコピーには、農林水産省政府獣医官のサイン、日付、印のオリジナルがページ毎に裏書きされていること。

4. 出国検疫条件

日本から馬を輸入するための出国検疫条件

出国検疫条件のどのような変更も AQIS に明確に承認されること。

場所

1. 出国検疫（PEQ）施設は輸出港の 250 km 以内にあること。
2. 出国検疫施設は、農林水産省政府獣医官が監督するのに適当な場所にあること。

施設

1. 出国検疫施設は輸出前証明の項に定められている、国や施設の条件に適合していること。
2. 出国検疫施設の全体が、少なくとも 5 m 離れた 2 重の家畜の逃亡を防止できる柵、又は PEQ 中の馬を隔離するために同等な防護のとられた物理的障壁で囲まれていること。
3. 厩舎、庭、柵、給餌・給水の配置を含め、出国検疫施設は動物愛護に配慮されていること。
4. 出国検疫施設の厩舎は清掃・消毒できる構造であり、良好な状態で維持されていること。
5. 出国検疫施設は、同等の衛生状態にない他の馬と少なくとも 100m 離れていること。
6. 出国検疫施設には、馬を輸送するための車両の清掃及び消毒のために区切られた区域と、安全に馬を乗降させられる施設があること。
7. 出国検疫施設には、獣医学的検査とサンプル採取のできる施設があること。

実施

1. 出国検疫施設は、出国検疫開始前に AQIS と日本の家畜衛生当局により現行の承認を得ていること。

- 2 . AQIS は、承認した出国検疫施設を監査することができる。
- 3 . 全ての出国検疫の実施と手順は、リスクに基づく手段と一致し、AQIS に承認された標準業務手順書（SOP）に詳述されること。
- 4 . 検疫施設は、個々の出国検疫の開始前に農林水産省政府獣医官により承認されること。個々の PEQ 開始前に、PEQ 施設は、農林水産省政府獣医官の認めるまで清掃・消毒されること。
- 5 . 出国検疫施設は農林水産省政府獣医官により監督されること。
- 6 . 出国検疫中と豪州への輸送中に使用される飼料は全て、出国検疫の開始前に出国検疫施設内へ運び入れること。
- 7 . 出国検疫中に使用される敷き藁は全て、出国検疫の開始前に出国検疫施設内へ運び入 れること。
- 8 . 出国検疫期間は、最後の輸出される馬が出国検疫施設に運び込まれ、全ての馬が農林水産省政府獣医官により検査された時点から開始するものとする。
- 9 . 出国検疫で使用される給餌、取り扱い及び治療のための全ての器具は全て、新品又は搬入前に洗浄・消毒されており、出国検疫期間中にその施設でのみ使用されること。
- 10 . 出国検疫期間中は、出国検疫施設は輸出される馬のみで占められること。
- 11 . 出国検疫期間中は、同等の衛生状態にない馬の 100 m 以内で、輸出馬を留める飼養する、又は調教しないこと。
- 12 . 出国検疫中の馬は、他の馬が使用するどの区域にも入らないこと。
- 13 . 出国検疫中は、馬を交配、生殖操作に用いないこと。
- 14 . 農林水産省政府獣医官に特別に承認された職員のみが、出国検疫施設への立ち入りが許可される。全ての訪問者の詳細を記録すること。
- 15 . 出国検疫期間中は出国検疫施設に立ち入る職員全員が、入る際にシャワーを浴び、着衣を変えること。あるいは、職員は施設外でシャワーを浴び、シャワーを浴びた後検疫施設に立ち入るまでの間に馬又は馬飼養施設と接触しないこと。出国検疫施設で用いる外装は清潔に洗濯して施設内のみで使用し、その場で保管されるか使い捨てとすること。出国検疫施設で用いられる履物は施設に入る前に清掃・消毒する、又は、施設内のみで使用しその場で保管すること、又は使い捨てのカバーを既存の履物に被せて使用すること。
- 16 . 証明に必要な監査、訪問及び治療を除き、どの馬についても、獣医師の訪問、健康問題、検査、検査結果、治療及び PEQ から外される理由は全て農林水産省政府獣医官に 24 時間以内に報告され、AQIS に 48 時間以内に報告されること。
- 17 . 詳細な健康記録は馬毎に保管され、農林水産省政府獣医官と AQIS の要求に応じて利用可能であること。
- 18 . 標準血清試料は、出国検疫開始 4 ~ 6 日後の馬から採取され、家畜衛生当局により承認され監督されている日本の研究所で入国検疫が完了するまで保管されること。
- 19 . 出国検疫期間中は、1 日 2 回 8 時間以上空けて馬の直腸温を測定し、記録すること。もし 2 回連続して体温が 38.5 以上であるか、感染性呼吸器疾病を示唆する他の症状があれば、鼻咽頭のサンプルを採取して A 型インフルエンザの検査を行い、農林水産省政府獣医官は AQIS に 48 時間以内に知らせること。もし、いかなる理由であっても 2 回連続して体温測定されなければ、AQIS に 48 時間以内に知らせ、農林水産省政府獣医官の承認を得た獣医師が臨床検査を行うこと。体温測定の記録は、入国検疫が完了するまで保管すること。

20. AQIS に承認された調教のため以外はいかなる理由であっても、出国検疫中に施設から出た馬は、出国検疫施設へ加わらないこと。
21. 輸出される馬が輸出のためにPEQ施設を出る前に、の農林水産省政府獣医官は、獣医証明書及び健康記録が監査され検疫条件を充足することをチェックリスト(別添1)によりAQISへ証拠として提出すること。

5. 出国前証明

農林水産省政府獣医官は下記の内容を証明しなければならない

1. 出国前検疫期間中
 - a. 輸入馬はワクチン接種を受けなかったこと
 - b. 輸入馬は交配や生殖操作に用いなかったこと。
 - c. 出国検疫施設内の全ての輸入馬は感染性又は伝染性疾病の兆候がなく、同等の健康状態でない馬と接触がないこと。
 - d. 検査の全てのサンプルは、農林水産省政府獣医官もしくは農林水産省に承認された獣医師により採取されていること。
 - e. 全ての検査は、日本の獣医当局により承認され監督されている研究所で実施されること。もし日本に承認された研究所がない場合、他国での検査は日本の獣医当局に認められた研究所で実施されること。
2. 輸入馬は、輸出港へ向けて出国検疫施設を出発する24時間以内に、農林水産省政府獣医官による検査を受け、次のことを確認しなければならない。
 - a. 感染性又は伝染性疾病の兆候のないこと。
 - b. 外部寄生虫が目視の結果見あたらなかったこと。
 - c. 問診の結果、牝馬の場合は、妊娠していないこと。
 - d. 健康で、輸送に適していること。
3. 出国検疫施設から輸出港へ輸送する車両は、輸入馬の積み込みのため出国検疫施設に入る前に、農林水産省政府獣医官が満足するまで清掃及び消毒を行うこと。
4. 輸入馬の輸送車両を不正開封防止シールで封印するところを監視するために、出国検疫施設を出る際の馬の積み込みの間、農林水産省政府獣医官が立ち会うこと。
5. 輸出港へ輸送する間、輸入馬は同等の衛生状態でない馬と接触しないこと。
6. 輸入馬のために用意された航空機あるいは船舶のタラップを含む区画及び取り外し可能な包装、ペン及びコンテナは、搭載前に清掃及び消毒されること。
7. 問診の結果、輸入馬は、出国直前の180日間、又は6ヶ月齢以下の場合には出生以後、過去3年間にわたって鼻疽の臨床的、疫学的又はその他兆候が起こっておらず、鼻疽が届出義務である、日本もしくは他国において継続的に飼養され、検疫制限を受けていなかったこと。
8. 輸入馬は、出国直前の60日間、過去2年間にわたってアフリカ馬疫、媾疫、ベネズエラ馬脳炎又は水胞性口炎の臨床的、疫学的又はその他兆候が起こっておらず、これらの疾病が届出義務である日本において継続的に飼養され検疫制限を受けていなかったこと。輸出前60日間に於いてアフリカ馬疫あるいはベネズエラ馬脳炎のワクチンを接種していないこと。

- 9 . 輸入馬は、出国直前の60日間、過去2年間にわたって東部馬脳炎又は西部馬脳炎の臨床的、疫学的又はその他兆候が起こっていない日本において継続的に飼育され、検疫制限を受けていなかったこと。
- 10 . 輸入馬は、出国直前の60日間、過去12ヶ月間にわたってラセンウジバエ (*Cochliomyia hominivorax* 又は *Chrysomya bezziana*) によるハエ幼虫症及びスーラ病の臨床的、疫学的又はその他兆候が起こっていない日本において継続的に飼育され、検疫制限を受けていなかったこと。
- 11 . 問診の結果、輸入馬は、出国直前の60日間、過去12ヶ月間にわたって狂犬病の臨床的、疫学的又はその他兆候があった日本のどの施設においても飼養されていなかったこと。
- 12 . 問診の結果、輸入馬は、出国直前の90日間、過去60日間にわたって、ボルナ病の臨床的兆候が起こった日本のどの施設においても飼養されていなかったこと。
- 13 . 問診の結果、輸入馬は、出国直前の60日間、過去90日間にわたって馬伝染性子宮炎、仮性皮疽、馬伝染性貧血、馬ピロプラズマ病、馬痘又はライム病の臨床的、疫学的又はその他兆候が起こった日本のどの施設においても飼養されていなかったこと。
- 14 . 問診の結果、輸入馬は、出国直前の30日間、過去90日間にわたって炭疽、馬ヘルペス1型ウイルス感染症(流産株及び神経株)、馬インフルエンザウイルス感染症又は馬ウイルス性動脈炎の発生の臨床的、疫学的又はその他兆候が起こった日本のどの施設において継も飼養されていなかったこと。
- 15 . 輸入馬は出国直前の最低14日間、出国検疫条件に適合する施設において出国検疫を実施されること。
- 16 . 馬伝染性子宮炎(去勢馬を除く全ての馬)
わかりうる限り、交配あるいは採精時に、馬伝染性子宮炎に感染していると知られている馬と、人工授精あるいは交配は決して行わないこと。
注意:もし馬がこの条件に適合しない場合、又は馬伝染性子宮炎に感染していると知られている場合、動物及び植物検疫の課長(又は代理(AQIS))により適切だと考えられ、認可された治療及び検査方法の実行により、入国が許可されることがある。
- 17 . 馬伝染性貧血
血液サンプルは、出国検疫開始後4~6日目に馬から採取し、伝染性子宮体炎に関する OIE マニュアルに書かれた寒天ゲル内免疫拡散試験法又は酵素免疫測定法(エライザ)を用いて検査し、陰性であること。
- 18 . 馬インフルエンザ
 - a. 出国検疫開始21~90日前に、OIE マニュアルに記載された基準に適合したワクチンを使用し、製造会社の推奨に従って、初回免疫か追加免疫のいずれかの抗馬インフルエンザワクチンを接種すること。
注意:使用ワクチンには、OIE Expert Surveillance Panel for Equine Influenza Vaccine Composition(注1)の推奨に従って、馬インフルエンザの下記の株もしくはそれと同等の株を含んでいること。
A/eq/South Africa/4/2003(H3N8)-like virus (American lineage)(注2)

(注1) A/eq/Newmarket/2/93 (European lineage)でも可

(注2) A/eq/South Africa/4/2003 と似たウイルス株として、A/eq/Ohio/2003, A/eq/Wisconsin/03, A/eq/Ibaraki/07 及び A/eq/Sydney/07 も可。その他の株 (A/eq/Newmarket/1/93 or A/eq/Kentucky/94-like virus) も、最新のワクチン株が日本において利用できるまでの間は可。

及び

- b. 鼻咽喉のサンプルを、出国検疫開始後 4 ~ 6 日の間と出国検疫施設出発前 4 日の間に採取し、A 型インフルエンザの PCR 検査を行い、それぞれの場合において陰性であること。

19 . ピロプラズマ病

出国検疫の期間中、医源性伝播の機会のないこと。

及び

- b. 血液サンプルは出国検疫開始 4 ~ 6 日後に採取され、馬ピロプラズマ病に関する OIE マニュアルに記載されている *Babesia caballi* と *Theileria equi* の間接蛍光抗体法を用いて検査され、陰性であること。もし日本に承認されている研究所がない場合、他国での検査は日本の獣医当局に認められた研究所で行われること。

注意：ピロプラズマ検査で陽性だった馬は、特別な検疫管理基準（別添 2）に基づいて一時的な輸入が許可される。

及び

- c. 問診の結果、輸入馬は、出国検疫開始前の最低 60 日間はイミドカルブや *B. cabali* 及び *T. equi* に効果のある他の抗バベシア薬での治療を行っていないこと。

及び

- d. 問診の結果、輸出直前の 60 日間に、馬ピロプラズマ病 (*B. cabali* あるいは *T. equi*) の全ての検査で陽性となっていないこと。

注意：ピロプラズマ検査で陽性だった馬は、特別な検疫管理基準（別添 2）に基づいて一時的な輸入が許される。

20 . 日本脳炎

輸入馬は、輸出直前の最低 21 日間は出国検疫を受けること。この期間中、輸入馬は同等の健康状態にない動物から隔離されていること 及び

出国検疫期間中、輸入馬は昆虫防止対策が採られている厩舎に入れること。輸入馬は、厩舎を離れる前に刺咬昆虫から守るための虫よけを行うこと。

又は

出発前 12 ヶ月以内であって、PEQ 期間でないときに、輸入馬は日本脳炎の承認されたワクチンを製造会社の注意書きに従い、接種されていること。

- 21 . 輸入馬は出国検疫施設の到着時に、農林水産省政府獣医官の直接監督下で、完全に検査され、ダニが見つからなかったこと。ダニ検査は、耳、鼻孔、馬体下部の特定部分（腋窩、鼠頸部、下顎部）、会陰、たてがみ及び尾部の綿密な検査が系統的に行われること。

及び

輸出馬は農林水産省政府獣医官の直接監督下で、直ちにダニに有効な駆虫薬で処置を受けること（データと処置スケジュールを獣医証明書に記載する）。

及び

- 出国検疫施設の馬からダニが発見された場合、出国検疫施設内の全ての馬は7日後に再びダニに有効な駆虫薬で処置を受けること（データと処置スケジュールを獣医証明書に記載する）。
- 2.2. 出国検疫期間中、輸入馬は広域スペクトル駆虫薬で治療を受けること（データと処置スケジュールを獣医証明書に記載する）。

6. 輸送

1. 輸出者あるいはその代理人は、出国検疫から豪州に到着するまでの馬輸送に関する、緊急対応対策を含む手続きを充足するために、リスクに基づく手法と一致する SOP を詳細に記し、AQIS に承認されていること。
2. 出国検疫施設から承認された空港までの道順は、農林水産省政府獣医官によって承認されていること。
3. 輸入馬の輸送車両が搬入前に適切に洗浄及び消毒されていることを確認し、不正開封防止シールで封印するところを監視し、馬が輸送に適していることを証明するために、出国検疫施設を出る際の馬の積み込みに農林水産省政府獣医官が立ち会うこと。農林水産省政府官は、到着時に車両の封が切られておらず、タラップや馬房が適切に洗浄及び消毒されていることを確認するために空港で対応できるようにすること。
4. 豪州への輸送中に輸入馬と直接接触し得る全ての職員（出国検疫施設から空港までの輸送、空港内、航空機内を含む）は、輸入馬と接触する前にシャワーを浴び、新品あるいは清潔な防護服と履物を着用すること。輸入馬と接触する職員は、豪州への輸送中に同等の健康状態でない馬と接触しないこと。
5. 豪州への輸送中に使用する飼料は、出国検疫開始前に出国検疫施設に搬入すること。
6. 輸送中の、敷料としての干し草や麦わらの使用は禁止する。処理された木材の削りくず、殺菌されたピート、柔らかい板を用いること。
7. 輸入馬は、出国検疫施設から豪州に着くまでの輸送中、同等の健康状態にない全ての動物から隔離されていること。
8. 不測の事態に備え、飛行中の間ずっと防虫ネットが備えられていること。エアストールを完全に覆える防虫ネットであること。
9. 豪州政府の獣医官は、輸入者の費用負担で豪州への輸送に同行する要求を受けることができる。
10. 貨物には、事前に AQIS の承諾を受けた場合のみ、同等の健康状態にある馬あるいは他種の動物が同乗することができる。
11. エアストールの設計、推奨される馬の条件、輸送準備、及び航空機内装、取り外し可能な装置、ペン及びコンテナの内部の消毒は、AQIS が別のものに賛同しない限り、OIE コードと国際航空運送協会の動物輸送規定の推奨に従うこと。

乗り継ぎ

1. 輸入馬は認められた空港でのみ乗り継ぎをすること。乗り継ぎはいかなる場合であっても、AQIS の事前承認が要求される。豪州へ向かう途中での寄港は、乗り継ぎする国の信頼できる機関の承認と許可が要求されるであろう。乗り継ぎ時間は、6 時間を超えないこと。輸入馬は、乗り継ぎの間、空港から出てはならず、エアストールから出されないこと。

2. 輸入馬は、承認された乗り継ぎ空港で航空機に搭載されていること。エアストールに入った輸入馬が取り下ろされない場合、認められていない人物は輸入馬に接触しないこと。カーゴドアはフライトの取り下ろしまたは積み込みのために承認された空港で開けることができる。カーゴドアが閉じられたらすぐに、認められたエアロゾルタイプの殺虫剤が、製造者の注意書きに沿って、カーゴ内に散布されること。
3. エアストールに入った輸入馬が取り下ろされる場合、カーゴドアを開ける前に、完全に昆虫が馬に近づくのを防ぐためのネットでエアストールが覆われること。ネットは馬が航空機内に再び積み込まれるまでかけていること。輸入馬が飛行機に積み込まれ、カーゴドアが閉じられたらすぐに、認められたエアロゾルタイプの殺虫剤が、製造者の注意書きに沿って、カーゴ内に散布されること。

出発の遅れ及び不時着

1. 輸出者またはその代理人は出発が遅れた場合及び不時着時の管理のための緊急事態対応プランを用意していること。
2. 乗り継ぎが6時間を超えた場合、AQIS へすぐに通知されなければならない。輸入馬は AQIS が認めないかぎり豪州へ移動しないこと。航空機が認められていない国に着陸した場合、AQIS へすぐに通知されること。馬が豪州へ移動できるか及び追加的な検疫が要求されるかどうかの決定は、AQIS がリスクに基づき、個々に行うであろう。

豪州への到着

1. 輸入者またはその代理人は、到着後の手続きを充足する、リスクに基づいた手法で構成されている詳細な SOP を持ち、それは AQIS に承認されていること。これらの SOP は AQIS との協議により作成され、既務員をふくむスタッフの役割と責任、エアストールの清掃及び消毒、空港からの輸送経路、PAQ 施設の馬運車、車と設備が不具合を起こした場合の緊急時対応プランを含む輸送経路が含まれていること。
2. 豪州の空港に輸入馬が到着した後、馬はエアストールから馬輸送用の車両につみかえられなければならない。人と設備に沿って、PAQ 施設へ直送されること。AQIS ドアシールは、PAQ 施設への輸送中のバイオセキュリティを完全に維持するために馬を輸送する車両に取り付けられる。
3. 航空機及び輸送経路で馬と共に移動する職員は全て、もしくは馬と接触した職員、検疫のリスクのある物やエアストールは、PAQ 施設に馬と同行する場合、空港や PAQ 施設を出る前に AQIS に指定された適切な汚染除去措置を行うこと。
4. 輸送中に用いる飼料及び水は、PAQ 期間中にのみ使用するために PAQ 施設まで馬と共に移動させてよい。
5. 全ての検疫のリスクのある物（例えば、空港で残っている床敷き、餌、水など）は袋に封印され、検疫を受け、AQIS の監督下で廃棄されること。
6. エアストールは、検疫のリスクのある物を放出させない方法により空港で確保し、AQIS の監督下で清掃・消毒すること。
7. 入国する空港から PAQ 施設までの馬輸送用の車両は、馬の積み込み前に AQIS の検疫官が満足するまで、洗浄及び消毒を行うこと。

8. PAQ 施設に馬と同行しない限り、馬の輸送中に使用された全ての設備と、職員が携帯する全ての手荷物及び私物は空港を出る前に AQIS の監督下で洗浄及び消毒されること。

7. 入国検疫条件

PAQ の完了後、これらの状態で輸入された各馬は、輸出されるまで検疫サーベイランス下に置く。輸入馬は、AQIS に特別に許可されない限り、到着後 60 日以内にオーストラリアから輸出される。検疫期間中もしくは検疫サーベイランス下では、輸入馬に交配する機会を与えてはならない。

日本から輸入された馬の入国検疫条件

入国検疫条件の変更は全て、AQIS に特別に許可されること。

1. 単独の出国検疫施設由来の馬：

輸入馬は最低 14 日間 PAQ に留めること。この期間中、輸入馬は同等の健康状態にない馬から隔離されること、及び、
鼻咽喉のサンプルを PAQ の開始後 4 ~ 6 日の間と PAQ 出発前 4 日の間に採取し、A 型インフルエンザの PCR 検査を行い、それぞれの場合において陰性であること。

又は

同じ地域の複数の出国検疫施設由来の馬：

輸入馬は最低 14 日間 PAQ に留めること。この期間中、輸入馬は同等の健康状態にない馬から隔離されること。及び、
PAQ 施設への貨物の入場期間は、最小限にすべきである。PAQ 期間は、PAQ 入場の最後の馬が施設に入った時点から始まる。及び、
鼻咽喉のサンプルを PAQ 施設到着後 24 時間以内と PAQ の開始後 4 ~ 6 日の間、PAQ 出発前 4 日の間に採取し、A 型インフルエンザの PCR 検査を行い、それぞれの場合において陰性であること。

又は

同じ地域にない複数の出国検疫施設由来の馬：

輸入馬は最低 21 日間 PAQ 留めること。この期間中、輸入馬は同等の健康状態にない馬から隔離されること。及び、
PAQ 施設への貨物の入場期間は、最小限にすべきである。PAQ 期間は、PAQ 入場の最後の馬が施設に入った時点から始まる。及び、
鼻咽喉のサンプルを PAQ 施設到着後 24 時間以内と PAQ の開始後 4 ~ 6 日の間、PAQ 出発前 4 日の間に採取し、A 型インフルエンザの PCR 検査を行い、それぞれの場合において陰性であること。

2. 豪州に一つの貨物として到着した際、PAQ 施設間で分割されないこと。
3. PAQ 施設に到着後、24 時間以内に参考血清サンプルを輸入馬から採取し、豪州家畜衛生研究所の国立家畜血清バンクに保存すること。
4. PAQ 期間 輸入馬の直腸温を 1 日 2 回 8 時間以上空けて測定し、記録すること。もし 2 回連続して体温が 38.5 以上であるか、感染性呼吸器疾病を示唆する他の症状があれば、鼻咽喉のサンプルを採取して A 型インフルエンザの検査を行い、AQIS に 48 時間以内に知らせること。もし、いかなる理由であっても 2 回連続して体温測定されなければ、AQIS に 48 時間以

内に知らせ、承認された獣医師が臨床検査を行うこと。体温測定記録は、AQIS によって閲覧可能であること。

5. 輸入馬は PAQ 施設に到着後 24 時間以内に、AQIS 獣医官の直接監督下で、承認された獣医官により完全に検査され、ダニが見つからなかったこと。ダニ検査は、耳、鼻孔、馬体下部の特定部分（腋窩、鼠頸部、下顎部）、会陰、たてがみ及び尾部の綿密な検査が系統的に行われること。

及び

PAQ 施設の馬からダニが発見された場合、PAQ 施設内の全ての馬は AQIS 獣医官の直接監督下で、直ちにダニに有効な駆虫薬で処置を受けること。

場所

1. PAQ 施設は到着港に近く、AQIS 獣医官が監督するのに適当な場所にあること。
2. 施設は過去 12 ヶ月間、馬伝染性貧血の発生のない区域内にあること。

施設

1. PAQ 施設が、少なくとも 5 m 離れた 2 重の家畜の逃亡を防止できる柵、又は PAQ 中の馬が施設外の動物と接触するのを避けるために、同等な防護のとられた物理的障壁で囲まれていること。
2. 厩舎、庭、柵、給餌・給水の配置を含め、PAQ 施設は動物愛護に配慮されていること。
3. PAQ 施設の厩舎は清掃・消毒できる構造であり、良好な状態で維持されていること。
4. PAQ 施設は、同等以下の健康状態にある他の馬と少なくとも 100 m 離れていること。
5. 出国検疫施設には、馬を輸送するための車両の清掃及び消毒のために区切られた区域と、安全に馬を乗降させられる施設があること。
6. 出国検疫施設には、獣医学的検査とサンプル採取のできる施設があること。

実施

1. PAQ 施設は、施設への馬の搬入前に AQIS により承認を得ていること。
2. AQIS は、承認した出国検疫施設を監査することができる。
3. 全ての PAQ 検疫の実施と手順は、リスクに基づく手段と一致し、AQIS に承認された SOP に詳述されること。
4. 馬が空港に到着してから PAQ 終了までの過程が監査可能であること。
5. PAQ は AQIS 獣医官により監督されること。
6. 馬の搬入前に AQIS 獣医官は PAQ 施設を視察し、施設が AQIS 獣医官の認めるまで清掃・消毒されていることを保証すること。
7. PAQ 期間は、最後の PAQ 搬入馬が施設に運び込まれた時点から開始するものとする。
8. PAQ 期間中は、施設は輸入される馬のみで占められること。
9. PAQ 期間中は、同等の衛生状態にない馬の 100 m 以内で、輸出馬を留める、飼養する、又は調教しないこと。
10. 輸入馬は PAQ 中、馬が交配する機会を持たないこと。

- 1 1 . 適切なバイオセキュリティ手順が、馬輸送用の車両、輸送コンテナ、器具、及び PAQ 施設への馬の輸送前、輸送中、輸送後の輸送業者を含む関係職員に対して実行されること。
- 1 2 . 馬輸送用の車両は、AQIS の検疫官が認めるまで完全に清掃・消毒されること。
- 1 3 . 各輸入馬は PAQ 施設の到着時に身元を確認され、AQIS によって検査・照合された獣医証明書及びパスポートを携帯していること。
- 1 4 . AQIS 獣医官に特別に承認された職員のみが、PAQ 施設への立ち入りが許可される。全ての訪問者の詳細を記録すること。
- 1 5 . PAQ 期間中は PAQ 施設に立ち入る職員全員が、専用又は使い捨ての外装と、専用で清掃・消毒する又は使い捨てられる履物を用いること。職員全員が PAQ 施設を出る前にシャワーを浴び、外装を変えること。PAQ 施設で用いる外装及び履物は、施設から出る前に AQIS が認めるまで清潔にすること。
- 1 6 . PAQ で使用される給餌、取り扱い及び治療のための全ての器具は全て、PAQ 施設から出る前に AQIS が認めるまで洗浄・消毒する、又は PAQ 期間中に施設内にとどめ、PAQ 終了時に AQIS の承認を受けて解放する。
- 1 7 . 証明に必要な監査、訪問及び治療を除き、どの馬についても、獣医師の訪問、健康問題、検査、検査結果、治療は全て AQIS 獣医官に 24 時間以内に報告されること。
- 1 8 . PAQ の実施中、施設の他の動物で発生した健康問題は全て、24 時間以内に AQIS 獣医官へ報告すること。
- 1 9 . 詳細な健康記録は PAQ 期間中、施設の馬毎に保管され、AQIS 獣医官の要求に応じて利用可能であること。
- 2 0 . AQIS 獣医官は、獣医証明書及び健康記録が監査され検疫条件を充足することを記録すること。
- 2 1 . 馬は PAQ 期間中に施設を出ないこと。

血清学的に馬ピロプラズマ病陽性の馬を、一時的に輸入するための検疫基準

馬ピロプラズマ病の検査で陽性となった馬は、下記の状態においては馬場馬術、障害飛越競技、総合馬術競技、レースあるいは展示会といった国際競技への出場のための一時的な輸入を許可することができる。

注意：AQIS は、エンデュランスや長距離走を含む乗馬競技のような長時間にわたって植物に曝される、あるいはダニの付着する機会のある場所での競技へ出場するために、血清学的に馬ピロプラズマ病陽性の馬を輸入することは許可しない。

一般条件

これらの検疫条件は、承認された国からの馬の一時的な輸入に対する追加検疫規則である。

証明

獣医証明書は各輸出馬について下記を証明すること。

1. 出国検疫期間中、馬ピロプラズマ病の臨床症状を示さなかった。
2. 馬ピロプラズマ病の OIE マニュアルに記載されているように出国検疫開始の少なくとも 7 日後に馬から血液サンプルを採取し、間接蛍光抗体法で *Babesia caballi* と *ThaILERIA equi* の検査を行い、次の結果を得ること：
T. equi 陽性 / 陰性
B. caballi 陽性 / 陰性
(適切でないほうの結果を削除すること)
3. 出国検疫施設の到着時、馬は農林水産省政府獣医官または農林水産省の承認を得た獣医師の直接監督下で完全に検査されており、ダニが確認されていなかったこと。ダニ検査は、耳、鼻孔、馬体下部の特定部分（腋窩、鼠頸部、下顎部）、会陰、たてがみ及び尾部の綿密な検査が系統的に行われること。輸入馬は農林水産省政府獣医官もしくは農林水産省の承認を得た獣医師の直接監督下で、直ちにダニに有効な駆虫薬で処置を受けること

及び

PEQ 施設の馬でマダニが確認された場合、施設内の全馬は 7 日後に再びマダニに対して有効な薬剤を用いて治療されたこと。

入国検疫及びサーベイランス条件

1. 血清学的状態に関わらず、全ての馬は PAQ 施設に到着後 2 4 時間以内に、AQIS 獣医官の直接監督下で、承認された獣医官により完全に検査され、ダニが見つからなかったこと。ダニ検査は、耳、鼻孔、馬体下部の特定部分（腋窩、鼠頸部、下顎部）、会陰、たてがみ及び尾部の綿密な検査が系統的に行われること。

及び

施設内の抗体陽性の馬は、AQIS 獣医官の直接監督下で、直ちにダニに有効な駆虫薬で処置を受けること。

及び

PAQ 施設の馬からダニが発見された場合、施設内の全ての馬は AQIS 獣医官の直接監督下で、直ちにダニに有効な駆虫薬で処置を受け、施設内の全ての馬（あらかじめ抗体陽性と確認されている馬を除く）はダニの治療後 11 日以上後に、ピロプラズマ病の検査を行うこと。発見されたダニは、同定れること。

- 2 . 抗体陽性の馬は、簡単に特定され（例えば、頭冠や頭絡上の独自のカラーコードディスク）オーストラリア滞在中は検疫サーベイランス下に置くこと。抗体陽性の馬への接触は制限される。
- 3 . PAQ 及び競技場所は、抗体陽性の馬を留めることを AQIS により承認されていること。これには、ダニの調査を含む。PAQ は *Rhipicephalus microplus* の清浄地域で行われること。
- 4 . 抗体陽性の馬は、承認された PAQ 施設及び競技場に留まること。これらの場所の間の移動は規制される。
- 5 . PAQ と競技場の調教場所の草は、通常の草刈りの範囲内で短く保つこと。
- 6 . 抗体陽性の馬は、*Rhipicephalus microplus* の存在する地域で最大 7 日間まで競技を行い、残留することができる。
- 7 . 抗体陽性の馬は、調教、競技、展示あるいは競馬の実時間を除いて、明瞭に分画された区域の PAQ 及び競技場内において、他の馬とは別個の建物におくこと。
- 8 . 抗体陽性の馬、及び抗体陽性馬と別個の建物にいる馬を含む同一場所の全ての他の馬は、抗体陽性の馬が輸出されるまで、AQIS によって、あるいは AQIS の監督下でダニの検査を毎日行うこと。
- 9 . 抗体陽性の馬は、ダニに有効な駆虫薬で毎週処置を受けること。
- 10 . 他の動物への交差汚染の危険性がないことを保証するために、ディスプレイ用品の使用を含む医原性の疾病拡大を防止のための方法がとられること。
- 11 . 抗体陽性の馬の敷料は、ゴム、おが屑あるいは細断された紙であること。もし麦わらが抗体陽性馬と同一な場所にいる抗体陰性馬の厩舎の敷料に用いられている場合には、*Rhipicephalus microplus* の清浄地域から供給されたものであること。
- 12 . 抗体陽性の馬、及び抗体陽性の馬のいる場所の全ての馬のための加熱処理のされていない干し草、切り藁及び飼料は、*Rhipicephalus microplus* の清浄地域から供給されたものであること。
- 13 . 抗体陽性の馬は、AQIS に特別に認可されない限り、輸入された目的である競技、展示あるいは競馬の完了後 10 日以内に輸出されること。



Quarantine measures for the temporary importation of horses from Japan

1. Definitions

Official MAFF Veterinarian means a veterinary official who belongs to the Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF) and may be a Veterinary Quarantine Officer. An Official MAFF Veterinarian performs certain tasks associated with animal health and/or public health, inspections of commodities and certify in conformity with the provisions of Chapters 5.1 and 5.2. of the World Organisation for Animal Health (OIE) Terrestrial Animal Health Code (the Code).

Veterinarian approved by MAFF means a veterinarian who is required in each PEQ facility, complies with PEQ standard operating procedures (SOPs) and follows orders of the MAFF Officer. Veterinarian approved by MAFF may be a PEQ facility veterinarian who is approved by MAFF before commencement of every PEQ.

2. Administrative conditions

Importation under these conditions is restricted to horses that have been continuously resident and free of quarantine restriction in Japan for at least 60 days immediately before export to Australia and that will be exported from Australia within 60 days after arrival. The 60 days residency requirement may be achieved in more than one approved country if specifically authorised by the Australian Quarantine and Inspection Service (AQIS). Quarantine requirements for each country of residence must be addressed.

Permission to import must be obtained in writing from AQIS before the export of horses.

Other administrative conditions, including details of import permit requirements and transport arrangements, are available from AQIS. Contact details are:

Live Animal Imports

AQIS

GPO Box 858

Canberra ACT 2601

Phone +61 2 6272 4454

Fax +61 2 6272 3110

E-mail animalimp@aqis.gov.au

The full conditions can also be viewed on AQIS' import conditions database (ICON) at www.aqis.gov.au.

3. Documentation

Each horse must travel with:

- a current international passport that conforms to the Model Passport for International Movement of Competition Horses recommended in the World Organisation for Animal Health (OIE) Terrestrial Animal Health Code (the Code), Chapter 5.12., or a similar official document issued by an internationally recognised horse organisation

- an original international veterinary certificate that conforms to Article 5.10.2. of the Code, signed by the Official MAFF Veterinarian.

The veterinary certificate must:

- be written in English and a language understood by the Official MAFF Veterinarian
- meet the requirements of the **certification before export** section and state that all **pre-export quarantine requirements** have been met
- provide identification for each animal (passport details and/or microchip number/site or brand or silhouette) including description, species, sex and age
- include the name and address of the exporter and importer and identify the import permit against which it was issued.

The Official MAFF Veterinarian must:

- provide a separate veterinary certificate for each horse
- sign, date and stamp (with the stamp of the Veterinary Authority) each page of the veterinary certificate and attach all original documents, e.g. laboratory reports, that form part of the extended veterinary certification
- record his/her name, signature and contact details on the veterinary certificate.

Copies of supporting documents must be endorsed with the original signature, date and stamp of the Official MAFF Veterinarian on every page.

4. Pre-export quarantine requirements

Pre-export quarantine requirements for the importation of horses from Japan

Any variation from the **pre-export quarantine requirements** must be specifically authorised by AQIS.

Location

1. The pre-export quarantine (PEQ) facility must be located within 250 km of the port of export.
2. The PEQ facility must be conveniently located for supervision by the Official MAFF Veterinarian.

Facilities

1. The PEQ facility must meet the country and premises requirements specified in the **certification before export** section.
2. The entire PEQ facility must be surrounded by two secure stock-proof fences at least five metres apart, or a physical barrier providing equivalent security to isolate horses in PEQ.
3. The PEQ facility including stables, yards, fences, feeding and watering arrangements must address animal welfare considerations.
4. Stables in the PEQ facility must be constructed so that they can be cleaned and

disinfectant applied and must be maintained in good order.

5. The PEQ facility must provide a separation of at least 100 metres from other equids not of equivalent health status.
6. The PEQ facility must have a separate area for the cleaning and disinfection of vehicles for transporting horses, and facilities for the safe unloading and loading of horses.
7. The PEQ facility must have facilities for veterinary examination and collection of samples.

Operation

1. The PEQ facility must have current approval from AQIS and the Veterinary Authority of Japan before commencement of PEQ.
2. AQIS may audit the approved PEQ facility.
3. All PEQ operations and procedures must be detailed in Standard Operating Procedures (SOPs), consistent with a risk-based approach and approved by AQIS.
4. The PEQ facility must be approved by the Official MAFF Veterinarian before commencement of PEQ. PEQ facilities must be cleaned and disinfected to the satisfaction of the Official MAFF Veterinarian before commencement of each PEQ.
5. PEQ must be under the supervision of the Official MAFF Veterinarian.
6. All feed to be used during PEQ and transport to Australia must enter the PEQ facility before commencement of PEQ.
7. All bedding to be used during PEQ must enter the PEQ facility before commencement of PEQ.
8. The PEQ period commences from the time the last horse in the export consignment has entered the PEQ facility and all horses have been examined by the Official MAFF Veterinarian.
9. All equipment used in feeding, handling and treating horses in PEQ must be new, or cleaned and disinfected before entry, and must be used only in the facility during PEQ.
10. During PEQ, the facility must be occupied only by horses of the export consignment.
11. For the duration of PEQ the horse has not been held, housed or exercised within 100 metres of other equids not of equivalent health status.
12. Horses in PEQ must not access any areas used by other horses.
13. Horses must not have the opportunity to mate and must not be subjected to reproductive manipulation while in PEQ.
14. Only personnel specifically authorised by the Official MAFF Veterinarian are permitted entry to the PEQ facility. Details of all visitor entries must be recorded.
15. All personnel entering the PEQ facility during PEQ must shower and change clothing on entry. Alternatively, they may shower off-site and must have no contact with horses or horse facilities between showering and entering the PEQ

facility. Outer clothing used in the PEQ facility should be freshly laundered or dedicated to the facility and stored on site or disposable. Footwear used in the PEQ facility should be cleaned and disinfected before entry or dedicated to the facility and stored on site, or disposable covering should be used over existing footwear.

16. Other than inspections, visits and treatments required for certification, all veterinary visits, health problems, tests, test results, treatments and reasons for removal from PEQ of any horse, must be reported to the Official MAFF Veterinarian within 24 hours, and to AQIS within 48 hours.
17. A detailed health record must be kept for each horse and be available to the Official Veterinarian and to AQIS on request.
18. A reference serum sample must be taken from the horse four to six days after commencement of PEQ and stored in Japan in a laboratory approved and monitored by the Veterinary Authority until completion of post-arrival quarantine (PAQ).
19. For the duration of PEQ the rectal temperature of the horse must be taken and recorded twice daily at least eight hours apart. If the temperature is 38.5 °C or higher on two consecutive recordings or other signs of infectious respiratory disease are present, a nasopharyngeal sample must be taken and tested for influenza A virus and the Official MAFF Veterinarian must notify AQIS within 48 hours. If the temperature is not taken for any reason on two consecutive occasions, the Official MAFF Veterinarian must be notify AQSI within 48 hours and a clinical examination by a Veterinarian approved by MAFF performed. Temperature records must be kept until completion of PAQ.
20. Horses that leave the facility during PEQ for any reason, other than for exercise as authorised by AQIS, cannot rejoin the consignment in PEQ.
21. Before the consignment of horses leaves the PEQ facility for export the Official MAFF Veterinarian must provide evidence to AQIS, in the form of a checklist, that veterinary certificates and health records have been inspected and comply with the quarantine requirements.

5. Certification before export

The Official MAFF Veterinarian must certify:

1. During PEQ:
 - a. the horse has not been vaccinated
 - b. the horse has not been mated or subjected to reproductive manipulation
 - c. all horses in the PEQ facility remained free from evidence of infectious or contagious disease, and had no contact with equids not of equivalent health status
 - d. all samples for testing have been taken by the Official MAFF Veterinarian or a Veterinarian approved by MAFF
 - e. all testing has been conducted in a laboratory approved and monitored by MAFF. If there is no approved laboratory in Japan, testing in another country must be conducted in a laboratory recognised by MAFF.

2. The horse has been examined by the Official MAFF Veterinarian within 24 hours before leaving the PEQ facility for the port of export and has been found to be:
 - a. free from evidence of infectious or contagious disease
 - b. visibly free of external parasites
 - c. after due enquiry, in the case of a mare, was not pregnant
 - d. healthy and fit to travel.
3. Vehicles for transporting horses from the PEQ facility to the port of export have been cleaned and disinfected to the satisfaction of the Official MAFF Veterinarian before entering the PEQ facility to load the horses.
4. The Official MAFF Veterinarian was present during loading of horses when leaving the PEQ facility to supervise sealing of vehicles for transporting horses, with tamper-evident seals.
5. During transport to the port of export, the horse had no contact with equids not of equivalent health status.
6. The compartment of the aircraft or vessel to be occupied by the horse and all removable equipment, penning and containers including loading ramps were satisfactorily cleaned and disinfected before loading.
7. After due enquiry, for 180 days immediately before export, or since birth if under six months of age, the horse has been continuously resident and free of quarantine restriction in Japan or other countries, where no clinical, epidemiological or other evidence of glanders has occurred during the previous three years and the disease is compulsorily notifiable.
8. For 60 days immediately before export the horse has been continuously resident and free of quarantine restriction in Japan, where no clinical, epidemiological or other evidence of African horse sickness, dourine, Venezuelan equine encephalomyelitis or vesicular stomatitis has occurred during the previous two years and the diseases are compulsorily notifiable. The horse has not been vaccinated against African horse sickness or Venezuelan equine encephalomyelitis during the 60 days before export.
9. For 60 days immediately before export the horse has been continuously resident and free of quarantine restriction in Japan, where no clinical, epidemiological or other evidence of Eastern or Western equine encephalomyelitis has occurred during the previous two years.
10. For 60 days immediately before export the horse has been continuously resident and free of quarantine restriction in Japan, where no clinical, epidemiological or other evidence of screw-worm-fly (*Cochliomyia hominivorax* or *Chrysomya bezziana*) myiasis or surra has occurred during the previous 12 months.
11. After due enquiry, for 60 days immediately before export the horse has not resided on any premises in Japan where clinical, epidemiological or other evidence of rabies has occurred during the previous 12 months.
12. After due enquiry, for 60 days immediately before export the horse has not resided on any premises in Japan where clinical evidence of Borna disease has occurred during the previous 90 days.
13. After due enquiry, for 60 days immediately before export the horse has not

resided on any premises in Japan, where clinical, epidemiological or other evidence of contagious equine metritis, epizootic lymphangitis, equine infectious anaemia, equine piroplasmosis, horse pox or Lyme disease has occurred during the previous 90 days.

14. After due enquiry, for 30 days immediately before export the horse has not resided on any premises in Japan, where clinical, epidemiological or other evidence of anthrax, equid herpesvirus-1 (abortigenic and neurological strains), equine influenza or equine viral arteritis has occurred during the previous 30 days.

15. The horse has been held in PEQ for at least 14 days immediately before export in a facility that met the requirements specified in the PEQ requirements. During this time the horse has been isolated from equids not of equivalent health status.

16. Contagious equine metritis

For all horses excluding geldings:

So far as can be determined, the horse has never been mated to, or inseminated with semen from, a horse that was, at the time of mating or semen collection, known to be infected with contagious equine metritis.

NOTE: If a horse does not meet this requirement, or has been known to have been infected with contagious equine metritis, it may be permitted entry subject to an approved method of treatment and testing considered appropriate by the Director of Animal and Plant Quarantine (or delegate (AQIS)).

17. Equine infectious anaemia

A blood sample has been taken from the horse four to six days after commencement of PEQ and tested using an agar gel immunodiffusion test or enzyme-linked immunosorbent assay as described in the OIE Manual for equine infectious anaemia with negative results.

18. Equine influenza

a. The horse has been vaccinated against equine influenza 21–90 days before commencement of PEQ with either a primary course or a booster according to the manufacturer's recommendations using a vaccine that complies with the standards described in the OIE Manual.

NOTE: Vaccines used must contain the following or equivalent strains of equine influenza virus in accordance with the recommendations of the OIE Expert Surveillance Panel for Equine Influenza Vaccine Composition¹:

an A/eq/South Africa/4/2003 (H3N8)-like virus (American lineage)²

AND

b. Nasopharyngeal samples have been taken from the horse four to six days after commencement of PEQ and during the four days before leaving the PEQ facility and tested using a polymerase chain reaction for influenza A virus with negative results in each case.

¹ Vaccines also containing European lineage (A/eq/Newmarket/2/93) are acceptable.

² A/eq/Ohio/2003, A/eq/Wisconsin/03, A/eq/Ibaraki/07 and A/eq/Sydney/07 are acceptable as A/eq/South Africa/4/2003-like viruses. Other strains (A/eq/Newmarket/1/93 or A/eq/Kentucky/94-like virus) are acceptable until such time as vaccine containing updated strains is available in Japan.

19. Equine piroplasmosis

- a. During PEQ there has been no opportunity for iatrogenic transmission.

AND

- b. Blood samples have been taken from the horse four to six days after commencement of PEQ and tested using an indirect fluorescent antibody test for *Babesia caballi* and *Theileria equi* as described in the OIE Manual for equine piroplasmosis with negative results in each case. If there is no approved laboratory in Japan, testing in another country must be conducted in a laboratory recognised by the Veterinary Authority of Japan.

NOTE: Horses that test positive for piroplasmosis may be permitted temporary importation under specific quarantine management measures (Appendix).

AND

- c. After due enquiry, the horse has not been treated with imidocarb, or other anti-babesial agents active against *B. caballi* or *T. equi*, for at least 60 days before commencement of PEQ.

AND

- d. After due enquiry, the horse has not been tested with any test for equine piroplasmosis (*B. caballi* or *T. equi*) with a positive result for at least 60 days before export.

NOTE: Horses that test positive for piroplasmosis may be permitted temporary importation under specific quarantine management measures (Appendix).

20. Japanese encephalitis

The horse has been held in PEQ for at least 21 days immediately before export. During this time the horse has been isolated from animals not of equivalent health status **and**

during PEQ the horse has been stabled in insect-screened stables. The horse has been treated with insect repellent for protection from biting insects before leaving the stables.

OR

Within 12 months before export, but not during PEQ, the horse has been vaccinated against Japanese encephalitis using an approved vaccine according to the manufacturer's recommendations.

21. On arrival at the PEQ facility the horse has been thoroughly examined, under the direct supervision of an Official MAFF Veterinarian, and no ticks have been found. A systematic approach was undertaken with close examination of ears, false nostrils, under-body areas (axilla, inguinal region and under the jawbone), perineum, mane and tail.

AND

The horse was then treated immediately, under the direct supervision of the Official MAFF Veterinarian, with a parasiticide effective against ticks (date and treatment schedule stated on the veterinary certificate).

AND

If any horse in the PEQ facility was found to have ticks, all horses in the facility were treated again seven days later with a parasiticide effective against ticks (date and treatment schedule stated on the veterinary certificate).

22. During PEQ the horse has been treated with a broad-spectrum anthelmintic (date and treatment schedule stated on the veterinary certificate).

6. Transport

1. Exporters or their agents must have detailed SOPs consistent with a risk-based approach and approved by AQIS, to cover procedures including contingency plans, for transporting the horse from PEQ until arrival in Australia.
2. The transport route from the PEQ facility to the approved airport must be approved by the Official Veterinarian.
3. The Official MAFF Veterinarian must be present during loading of horses when leaving the PEQ facility to ensure vehicles for transporting horses are adequately cleaned and disinfected before loading, to supervise sealing of vehicles for transporting horses with tamper-evident seals and to certify that the horses are fit to travel. A government officer authorised by the Veterinary Authority must be available at the airport to check the vehicle seals are intact on arrival and ensure ramps and air stalls are adequately cleaned and disinfected.
4. All personnel likely to be in direct contact with the horses during transport to Australia (including transport from the PEQ facility to the airport, at the airport, and on the aircraft) must shower and wear new or clean protective clothing and footwear before coming into contact with the horses. They must not have any contact with horses not of equivalent health status during transport to Australia.
5. All feed to be used during transport to Australia must enter the PEQ facility before commencement of PEQ.
6. The use of hay or straw as bedding during transport is not permitted. Treated wood shavings, sterilised peat and soft board can be used.
7. Horses must remain isolated from all animals not of equivalent health status during transport from the PEQ facility until arrival in Australia.
8. Insect netting must be carried on the flight at all times for contingencies. There must be sufficient insect netting to cover all air stalls completely. Insect netting must be in good condition to minimise entry of insect vectors into the air stalls.
9. An Australian government veterinarian may be required to accompany the shipment to Australia at the importer's expense.
10. The consignment may be accompanied by other horses of the equivalent health status or animals of other species only with the prior approval of AQIS.
11. The design of the air stalls, the recommended requirements for horses, the preparation for transport, and the disinfection of the interior of the aircraft, removable equipment, penning and containers must be in accordance with the recommendations of the Code and International Air Transport Association Live Animal Regulations unless otherwise agreed by AQIS.

Transit and transhipment

1. Horses must transit or tranship only at an approved airport. Any transhipment requires the prior approval of AQIS. Stops en route to Australia will need approval and permits from relevant authorities in the countries of transit and transhipment. Transit and transhipment times must not exceed six hours. Horses are not to leave the airport and must not be removed from their air stalls during transit or transhipment.
2. Horses must remain on board the aircraft at approved transit airports. Unauthorised personnel must not have contact with the horses. Cargo doors can be opened at approved transit airports to allow for unloading or loading of freight. Immediately after the cargo hold doors are closed, an approved knockdown aerosol insecticide must be sprayed throughout the cargo hold, in the manner recommended by the manufacturer.
3. In cases where horses in air stalls are to be unloaded, before opening the cargo door, the air stalls must be completely covered in netting to prevent insect access to the horses. The netting must remain in place until the horses are reloaded on an aircraft. Immediately after the horses are reloaded on an aircraft and the cargo hold doors are closed, an approved knockdown aerosol insecticide spray must be sprayed throughout the cargo hold in the manner recommended by the manufacturer. The insect netting must not be removed until 30 minutes after spraying.

Delayed takeoffs and unscheduled landings

1. Exporters or their agents must have contingency plans for the management of delayed takeoffs and unscheduled landings.
2. In the event that transit or transhipment exceeds six hours, AQIS must be notified immediately and the horses must not proceed to Australia without approval from AQIS. If the aircraft lands at any airport other than in an approved country, AQIS must be informed immediately. The decision as to whether the horses can continue to travel to Australia, and additional quarantine measures that may be required, will be made by AQIS on a risk-based case-by-case basis.

Arrival in Australia

1. Importers or their agents must have detailed SOPs consistent with a risk-based approach and approved by AQIS, to cover post-arrival procedures. These SOPs are to be developed in consultation with AQIS and must include roles and responsibilities for their staff, including grooms, cleaning and disinfection of air stalls, the area used to transfer horses to road transport at the airport, vehicles for transporting horses at the PAQ facility, and road transport arrangements including contingency plans for vehicle and equipment failures.
2. After the horses arrive at an Australian airport they must be transferred from their air stalls onto vehicles for transporting horses, along with personnel and equipment, and proceed directly to the PAQ facility. AQIS door seals must be applied to vehicles for transporting horses to maintain biosecurity integrity during transport to the PAQ facility.
3. All personnel travelling with the horses on the aircraft and road transport, or that

have had contact with the horses, quarantine risk material or air stalls, must undertake appropriate decontamination measures as specified by AQIS before leaving the airport or the PAQ facility if they are accompanying the horses to the PAQ facility.

4. Feed and water used during transport can travel with the horses to the PAQ facility for use only during PAQ.
5. All quarantine risk material (e.g. bedding, feed, water and waste material) remaining at the airport must be sealed in bags, ordered into quarantine and disposed of under AQIS supervision.
6. Air stalls must be secured at the airport in a manner that prevents release of quarantine risk material and cleaned and disinfected under AQIS supervision.
7. Vehicles for transporting horses from the port of entry to the PAQ facility must be cleaned and disinfected to the satisfaction of the AQIS quarantine officer before loading the horses. AQIS must be advised of the transport route to the PAQ facility.
8. Unless accompanying horses to the PAQ facility, all equipment used during transport of the horses, and all baggage and personal equipment accompanying personnel, must be cleaned and disinfected under AQIS supervision before leaving the airport.

7. Post-arrival quarantine requirements

After completion of PAQ, each horse imported under these conditions will be held under quarantine surveillance until exported. Horses will be exported from Australia within 60 days of arrival, unless specifically authorised by AQIS. Imported horses must be denied the opportunity to mate either while in quarantine or under quarantine surveillance.

Post-arrival quarantine requirements for the importation of horses from Japan

Any variation from the **post-arrival quarantine requirements** must be specifically authorised by AQIS.

1. For horses originating from a single PEQ facility:

The horse must be held in PAQ for at least 14 days. During this time the horse must be isolated from equids not of equivalent health status **and**

nasopharyngeal samples must be taken from the horse four to six days after commencement of PAQ and within four days of release from PAQ and tested using a polymerase chain reaction for influenza A virus with negative results in each case.

OR

For horses originating from multiple PEQ facilities within the same region:

The horse must be held in PAQ for at least 14 days. During this time the horse must be isolated from equids not of equivalent health status **and**

the period of intake of consignments into the PAQ facility should be kept to a minimum. The PAQ period will commence from the time of entry into the facility

of the last horse of the PAQ intake **and**

nasopharyngeal samples must be taken from the horse within 24 hours of arrival into the PAQ facility and four to six days after commencement of PAQ and within four days of release from PAQ and tested using a polymerase chain reaction for influenza A virus with negative results in each case.

OR

For horses originating from multiple PEQ facilities NOT within the same region:

The horse must be held in PAQ for at least 21 days. During this time the horse must be isolated from equids not of equivalent health status **and**

the period of intake of consignments into the PAQ facility should be kept to a minimum. The PAQ period will commence from the time of entry into the facility of the last horse of the PAQ intake **and**

nasopharyngeal samples must be taken from the horse within 24 hours of arrival into the PAQ facility and four to six days after commencement of PAQ and within four days of release from PAQ and tested using a polymerase chain reaction for influenza A virus with negative results in each case.

2. A single consignment must not be split between PAQ facilities on arrival in Australia.
3. A reference serum sample must be taken from the horse within 24 hours of arrival into the PAQ facility and stored at the National Animal Serum Bank at the Australian Animal Health Laboratory.
4. For the duration of PAQ the rectal temperature of the horse must be taken and recorded twice daily at least eight hours apart. If the temperature is 38.5 °C or higher on two consecutive recordings or other signs of respiratory disease are present, a nasopharyngeal sample must be taken and tested for influenza A virus and AQIS notified. If the temperature cannot be taken for any reason on two consecutive occasions, AQIS must be notified and a clinical examination by a registered veterinarian performed. Temperature records must be made available for inspection by AQIS.
5. Within 24 hours of arrival at the PAQ facility the horse must be thoroughly examined for ticks by a registered veterinarian under the direct supervision of the AQIS veterinarian, and no ticks found. A systematic approach must be undertaken with close examination of ears, false nostrils, under-body areas (axilla, inguinal region and under the jawbone), perineum, mane and tail.

AND

If any horse in the PAQ facility is found to have ticks, all horses in the facility must be treated immediately, under the direct supervision of the AQIS veterinarian, with a parasiticide effective against ticks and all horses in the facility must be tested for piroplasmiasis at least 11 days after treatment for ticks.

Location

1. The PAQ facility should be close to the port of arrival and be conveniently located for supervision by the AQIS veterinarian.
2. The facility must be located in an area that has been free from equine infectious

anaemia during the previous 12 months.

Facilities

1. The PAQ facility must be surrounded by two secure stock-proof fences at least five metres apart, or a physical barrier providing equivalent security to prevent horses in PAQ having contact with animals outside the facility.
2. The PAQ facility including stables, yards, fences, feeding and watering arrangements must address animal welfare considerations.
3. Stables in the PAQ facility must be constructed so that they can be cleaned and disinfected.
4. The PAQ facility must provide a separation of at least 100 metres from other equids not of equivalent health status.
5. The PAQ facility must have a separate area for the cleaning and disinfection of vehicles for transporting horses, and facilities for the safe unloading and loading of horses.
6. The PAQ facility must have facilities for veterinary examination and the collection of samples.

Operation

1. The PAQ facility must be approved by AQIS before entry of any horse into the facility.
2. AQIS may audit the approved PAQ facility.
3. All PAQ operations and procedures must have detailed SOPs, consistent with a risk-based approach and approved by AQIS.
4. The process from the time horses arrive at the airport to the completion of PAQ must be auditable.
5. PAQ must be under the supervision of the AQIS veterinarian.
6. The AQIS veterinarian must inspect the PAQ facility before entry of any horse and must ensure that the facility has been cleaned and disinfectant applied to his/her satisfaction.
7. The PAQ period will commence from the time of entry into the facility of the last horse of the PAQ intake.
8. During PAQ, the only horses in the facility must be those of the import consignment.
9. For the duration of PAQ the horse must not be held, housed or exercised within 100 metres of other equids not of equivalent health status.
10. Horses must not have the opportunity to mate while in PAQ.
11. Appropriate biosecurity procedures must be implemented for vehicles for transporting horses, freight containers, equipment and associated personnel, including transport operators, before, during and after the transport of horses to the PAQ facility.
12. Vehicles for transporting horses are not permitted to leave the PAQ facility until

thoroughly cleaned and disinfected to the satisfaction of the AQIS quarantine officer.

13. Each imported horse must be identified on arrival at the PAQ facility and the accompanying veterinary certificate and passport examined and checked by AQIS.
14. Only personnel specifically authorised by AQIS are permitted to enter the PAQ facility. Details of all visitor entries must be recorded.
15. All personnel entering the PAQ facility during PAQ must wear dedicated or disposable outer clothing and dedicated, cleaned and disinfected or disposable footwear. All personnel must shower and change outer clothing before leaving the PAQ facility. Outer clothing and footwear used within the PAQ facility must be cleaned to the satisfaction of AQIS before removal from the facility.
16. All equipment used in feeding, handling and treating horses in PAQ must either be cleaned and disinfected to the satisfaction of AQIS before removal from the PAQ facility, or remain on-site for the duration of PAQ and then be released with AQIS approval at the completion of PAQ.
17. Other than inspections, visits and treatments required for certification, all veterinary visits, health problems, tests, test results and treatments must be reported to the AQIS veterinarian within 24 hours.
18. Any health problems affecting other animals on the facility undergoing PAQ must be reported to the AQIS veterinarian within 24 hours.
19. A detailed health record must be kept for each horse on the facility during the PAQ period and it must be available to the AQIS veterinarian.
20. The AQIS veterinarian must document that veterinary certificates and health records have been inspected and comply with the quarantine requirements.
21. Horses must not leave the facility during PAQ.

Quarantine measures for the temporary importation of horses that are serologically positive for equine piroplasmosis

Horses which give positive results in tests for equine piroplasmosis may be permitted temporary import to compete in international competitions such as dressage, showjumping, eventing, races and exhibitions under the following conditions.

NOTE: AQIS will not permit the importation of horses serologically positive for equine piroplasmosis to compete in events where there is prolonged exposure to vegetation and opportunity for tick attachment such as endurance rides and driving events which involve a marathon phase.

General

These quarantine requirements are additional to the quarantine measures for the temporary importation of horses from approved countries.

Certification

The veterinary certificate must attest that each horse for export in the consignment:

1. Showed no clinical sign of equine piroplasmosis during PEQ.
2. Blood samples were taken from the horse not less than seven days after commencement of PEQ and tested using an indirect fluorescent antibody test for *Babesia caballi* and *Theileria equi* as described in the OIE Manual for equine piroplasmosis, with the following results:
 - *Theileria equi* POSITIVE/NEGATIVE
 - *Babesia caballi* POSITIVE/NEGATIVE(delete, sign and date result which is not applicable)
3. On arrival at the PEQ facility the horse has been thoroughly examined under the direct supervision of the Official MAFF Veterinarian, and no ticks have been found. A systematic approach was undertaken with close examination of ears, false nostrils, under-body areas (axilla, inguinal region and under the jawbone), perineum, mane and tail. The horse was then treated immediately, under the direct supervision of the Official MAFF Veterinarian, with a parasiticide effective against ticks.

AND

If any horse in the PEQ facility was found to have ticks, all horses in the facility were treated again seven days later with a parasiticide effective against ticks.

Post-arrival quarantine and surveillance requirements

1. All horses irrespective of serological status must be thoroughly examined for ticks within 24 hours of arrival at the PAQ facility by a registered veterinarian under the direct supervision of the AQIS veterinarian, and no ticks found. A systematic approach must be taken with close examination of ears, false nostrils, under-body areas (axilla, inguinal and under jawbone), perineum, mane and tail.

AND

Seropositive horses in the facility must be treated immediately, under the direct supervision of the AQIS veterinarian, with a parasiticide effective against ticks.

AND

If any horse in the PAQ facility is found to have ticks, all horses in the facility must be treated immediately, under the direct supervision of the AQIS veterinarian, with a parasiticide effective against ticks and all horses in the facility (excluding horses previously identified as being seropositive) must be tested for piroplasmiasis at least 11 days after treatment for ticks. Any ticks found should be identified.

2. Seropositive horses must be easily identified (for example by a unique colour coded disc on their head collar and bridle) and under quarantine surveillance while in Australia. Access to seropositive horses will be restricted.
3. PAQ and competition sites must be approved by AQIS to hold seropositive horses. This could involve a survey for ticks. PAQ must be conducted in areas free of *Rhipicephalus microplus*.
4. Seropositive horses must remain on approved PAQ facilities and competition sites. Movement between these sites must be controlled.
5. Grass in exercise areas of PAQ and competition sites must be kept very short by such measures as regular mowing.
6. Seropositive horses can compete and remain in areas where *Rhipicephalus microplus* is present for a maximum of seven days.
7. Seropositive horses must be maintained in a separate building from other horses on the PAQ and competition sites in a clearly demarcated area except at the actual time of training, competition, exhibition or racing.
8. Seropositive horses and all other horses on the same site including those in separate buildings as seropositive horses must be examined daily for ticks by AQIS or a under the supervision of AQIS until export of the seropositive horses.
9. Seropositive horses must be treated weekly with a parasiticide effective against ticks.
10. Measures, including the use of disposable equipment, must be taken to prevent iatrogenic spread of the disease to ensure there is no risk of cross-contamination to other animals.
11. Bedding for seropositive horses must be rubber, wood shavings or shredded paper. If straw is used for stable bedding for seronegative horses located at the same site as seropositive horses it must be sourced from *Rhipicephalus microplus* free areas.
12. Hay, chaff and any other feedstuffs not heat treated for seropositive horses and all horses on site with seropositive horses must be sourced from *Rhipicephalus microplus* free areas.
13. Seropositive horses must be exported within ten days of the completion of the competition, exhibition or racing event for which they were imported unless specifically authorised by AQIS.